

敬老の日、贈ろう”安心” ～安全ライドで、笑顔の毎日～

今年の敬老の日は9月15日。ご高齢の方とふれあう機会も増えるかと思います。独立行政法人製品評価技術基盤機構〔NITE(ナイト)、理事長：長谷川史彦、本所：東京都渋谷区西原〕は、アクティブシニア※¹の事故を防ぐために事故が発生しやすい状況を3製品の例で紹介し、注意を呼びかけます。

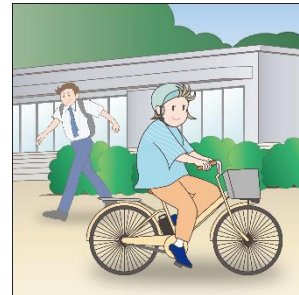
敬老の日は、長年にわたり地域や家庭を支えてきたご高齢の方々に、感謝の気持ちを伝える日です。ご近所での何気ない会話、介護施設での穏やかな時間、家族との団らん——そんな日常のひとコマが、かけがえのない宝物です。

しかし、シルバーカー・歩行車や電動車いす、電動アシスト自転車など、日々の移動を支える製品による事故は、これまでも数多く報告されており、重傷や死亡に至るケースも少なくありません。

これらの製品は、活動的な高齢者の自立や外出を支える大切な道具である一方、使い方を誤ると重大な事故につながる可能性もあります。

今回は、アクティブシニア向け製品の事故事例と、事故を防ぐためのポイントをご紹介します。

敬老の日をきっかけに、ご家族やご近所、介護施設の皆さまで「大切な人の安全を、もう一度見つめ直す時間」を作り、感謝の気持ちとともに“安心”というプレゼントを贈りませんか？



シルバーカー、電動車いす、電動アシスト自転車でお出かけしているシニア

■シルバーカー・歩行車で気を付けるポイント

- 身体の状態に適しているかを専門家に確認する。
- 利用する道路環境をご家族や介助者等と一緒にあらかじめ確認する。
- 正しい高さに調整し、重い荷物を載せる、ペットをつなぐなど無理な使用をしない。

■電動車いすで気を付けるポイント

- 利用する道路環境をご家族や介助者等と一緒にあらかじめ確認する。
- 乗車前にバッテリーの状態を確認する。
- 転倒防止装置がある場合は機能しているか等、乗車前点検、定期点検を行う。

■電動アシスト自転車で気を付けるポイント

- 初期点検は必ず受ける。乗車前に点検を行う。
- アシスト機能を過信しない。急発進や「けんけん乗り」を避ける。

(※) 本資料中の全ての画像は再現イメージであり、実際の事故とは関係ありません。

(※1) 本資料では、内閣府の高齢社会白書の定義に合わせて65歳以上を「高齢者」としています。また、日常的に外出等を行う活動的な高齢者のことを「アクティブシニア」と定義します。

本資料で対象とする製品

シルバーカー（歩行補助車）

ハンドル（バー型）



歩行車

ハンドル（コの字型）



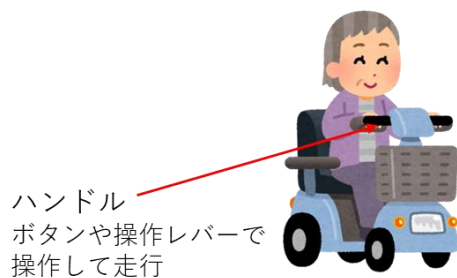
歩行器（本資料では対象外）



シルバーカー及び歩行車は、前輪と後輪のある、押して歩くタイプの外出用歩行補助具です。座面付きで安定性が高く、歩行を補助しながら休憩もできる福祉用具です。シルバーカーは、自立して歩ける高齢者が荷物の運搬や休憩のために使う補助具で、バー型のハンドルが特徴です。一方、歩行車は、歩行に支えが必要な方が体を預けながら安全に歩くための補助具で、コの字型のハンドルを持ちます。目的も構造も異なるため、使用者の状態に応じて選ぶことが大切です。

なお、本資料では対象外である歩行器は座面がなく、主に医療・リハビリ目的で屋内使用が中心の補助具です。

電動車いす



ハンドル形

ジョイスティック
指先で軽く動かすだけで
前後左右に移動可能



転倒防止バー
後ろに傾いたときに
地面に接触して転倒を防ぐ
後ろに重心がかかりやすい構造の
電動車いすに設置されていることが多い

ジョイスティック形

電動車いすは、電動モーターで動く、操作が簡単な移動支援用の乗り物です。自分の手でこがなくても、また、介助者が押して歩かなくても、ボタンやジョイスティックでスムーズに移動できます。

電動車いすの種類は操作方式により、ハンドルのボタンや操作レバーで操作をする「ハンドル形」とジョイスティックレバーで操作をする「ジョイスティック形」があり、いずれも道路交通法では歩行者扱いとなります。

電動アシスト自転車

バッテリー

ここからモーターに電力が送られる

モーター

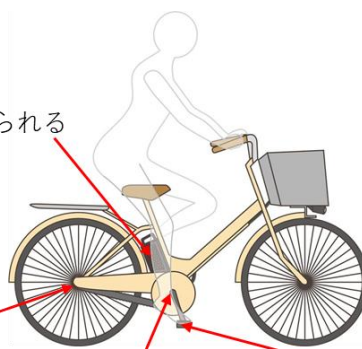
ペダルの力を補助する

センサー

ペダルにかかった力を感知して
アシストの強さを調整

ペダル

人が足で踏み込んでこぐ



電動アシスト自転車は、ペダルをこぐ力をモーターが補助してくれる乗り物で、坂道や発進時でも小さな力でスムーズに走れます。高齢者にとっては、足腰への負担を減らしながら安全に移動できる手段となり、外出の不安を軽減して活動の幅を広げてくれます。

1. シルバーカー・歩行車の事故

シルバーカー・歩行車を使用中の事故では、バランスを崩し転倒した事故が多く発生しております。

■身体の状態に適していないまま使用して歩行し転倒した事故

事故発生年月 2020 年 11 月（東京都、90 歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

使用者が歩行車を使用中、転倒し、足を負傷した。

【事故の原因】

詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかったが、使用者は、ケアマネジャー及び訪問看護師から車いすの利用を勧められていたが、歩行車を使用していたため、傾斜した路面でバランスを崩し、転倒したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

歩行車 ケアマネジャー 訪問看護師

■段差により転倒した事故

事故発生年月 2018 年 2 月（静岡県、80 歳代・女性、重傷）

【事故の内容】

歩行車を使用中、転倒し、左腕を負傷した。

【事故の原因】

歩行車に異常は認められず、後ろ向きに引っ張っていたときに前輪が段差に引っ掛かりバランスを崩して転倒したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

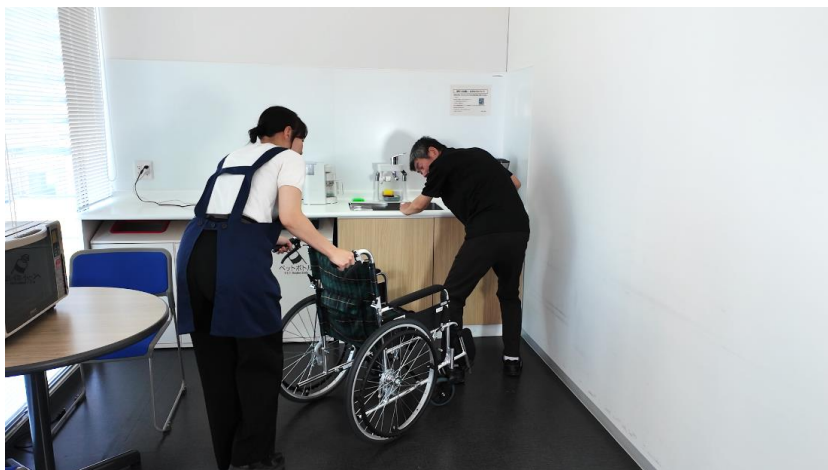
歩行車 段差

シルバーカー・歩行車で気を付けるポイント

○身体の状態に適しているかを専門家に確認する。

シルバーカー・歩行車を安全かつ効果的に使用するためには、使用者の歩行能力が使用に適しているかを事前に確認することが大切です。シルバーカー・歩行車は、基本的に自立歩行ができる高齢者の方が、より安定して歩行できるように補助的に用いる福祉用具です。歩行能力が著しく低下している場合や、バランス感覚に大きな不安がある場合には、これらの製品を使用することでかえって危険を伴うこともあります。歩行能力や身体状況によっては、シルバーカーや歩行車よりも、車いすや杖など他の福祉用具の方が適している場合もあります。

使用前には医療・介護の専門家に相談し、実際の歩行状況の観察を通じて、これらの製品の使用が本人にとって安全かつ有効であるかを慎重に判断するようにしましょう。



介護士から車いすを勧められている様子

○利用する道路環境を介助者とともにあらかじめ確認する。

初めてシルバーカーや歩行車を使って道路に出るときは、ご家族や介助者などと一緒に歩行練習を行い、交通ルールや安全な通行順路を確認してください。また、事前に道路環境を確認し、次のような危険な道路、危険箇所には近づかず、避けるようにしましょう。

- 段差がある箇所
- 踏切や舗装が不十分な道路など、車輪が引っかかりやすい場所
- 横断に時間のかかる広い道路や信号のない交差点
- 歩行に負担がかかりやすい、急な坂道

段差がある箇所ではなくスロープを使用するなど、安全な道を選びましょう。

やむを得ずそのような場所を通行する必要がある場合は、転倒などの事故を防ぐために、段差の前では一旦停止し慎重に乗り越えるなど、無理のない動作を心がけましょう。必要に応じて、介助者の支援を受けるようにしてください。



段差を避けスロープを使用する

○正しい高さに調整し、重い荷物を載せる、ペットをつなぐなど無理な使用をしない。

シルバーカー・歩行車を安全に使用するためには、使用者の体格や歩行状態に合わせて正しい高さに調整することが大切です。高さが合っていないと、姿勢が不自然になり、転倒や身体への負担につながる可能性があります。

重い荷物を載せる、段差を無理して乗り越えるような使用は避ける必要があります。過度な荷重は、車体のバランスを崩したり、破損や事故の原因となることがあります。

さらに、ペットをつなぐことは避けましょう。ペットが予想外の動きをすると、シルバーカー・歩行車が引っ張られて転倒や衝突の危険が生じる可能性があります。

使用前には、適切な高さや荷物の積載可能重量などを確認し、無理のない使い方を心がけましょう。



高さを調整する



荷物を持ってもらう

安全な使用例

2. 電動車いすの事故

電動車いすの事故は屋外における単独使用時に事故が発生しています。特に踏切や側溝、坂道での事故が多くなっています。

■使用中の環境が悪く畑に転落した事故

事故発生年月 2022 年 9 月（長野県、90 歳代・男性、死亡）

【事故の内容】

電動車いすで走行中、畑に転落して死亡した。

【事故の原因】

使用者が電動車いすの運転操作を誤ったことで、柵のない駐車場から崖下に転落したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

電動車いす 畑 転落

■踏切内を走行中に停止し電車と接触した事故

事故発生年月 2018 年 9 月（兵庫県、70 歳代・男性、死亡）

【事故の内容】

使用者が電動車いすに乗車していたところ、踏切内で列車にはねられ死亡した。

【事故の原因】

詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかったが、電動車いすが踏切内で停止し、使用者が逃げ遅れたことで電車と接触したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

電動車いす 踏切

■転倒防止機能を使用せずに走行中に転倒した事故

事故発生年月 2010 年 7 月（京都府、70 歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

電動車いすで走行中、後方に転倒し、負傷した。

【事故の原因】

電動車いすは、転倒防止用バーを使用していれば、段差等で転倒する問題は認められないことから、使用者が、転倒防止用バーを収納したまま、勢いよく段差を乗り越えようとして電動車いすが後方に傾き、転倒して事故に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には「介助者が居ない時に転倒防止バーを収納したまま走行しない」旨、記載されている。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

電動車いす 転倒防止バー

電動車いすで気を付けるポイント

○利用する道路環境を介助者とともにあらかじめ確認する。

初めて道路に出るときはご家族や介助者等と一緒に、走行練習や交通ルール、安全な通行順路を確認してください。また、事前に道路環境を確認し、次のような危険な道路、危険箇所には近づかず、避けるようにしましょう。やむを得ず走行する必要がある場合は、脱輪防止のため踏切や道の端を走行しないようにしましょう。

- 転落のおそれのある、ガードレールのない崖や蓋のない側溝
- 踏切
- 横断に時間のかかる広い道路や信号のない交差点
- 転倒や衝突のおそれのある、急な坂道



側溝に脱輪



踏切内の砂利部に脱輪

脱輪してしまう例

○乗車前にバッテリーの状態を確認する。

電動車いすを使用する際には、バッテリー残量を必ず確認してください。残量が少ないまま利用すると、途中でバッテリーが切れてしまい、帰宅できない、踏切内で停止し電車と接触してしまうなどのおそれがあります。

○転倒防止装置がある場合は機能しているか等、乗車前点検、定期点検を行う。

電動車いすを使用する前には、転倒防止装置がある場合は正常に機能しているかを確認しましょう。また、乗車前にハンドルやアクセルレバーに緩みがないか、タイヤに亀裂がないかななどを点検することも、製品の故障による事故の防止につながります。

さらに、定期的に取り扱店などで専門の点検を受けることも大切です。不具合のある状態で使用すると、けがをしたり電動車いすを損傷したりする原因になります。

点検項目の詳細、点検時期については、製品に付属の取扱説明書やメーカーのホームページをご確認ください。安全機能が不十分な電動車いすをご使用の場合は、事故防止のためにも、転倒防止機能などを備えた製品への買い替えをご検討ください。

3. 電動アシスト自転車の事故

電動アシスト自転車で走行中に転倒した事故や、電動アシスト自転車のバッテリーの焼損事故などが発生しています。

■乗車前の点検不足により起こった事故

事故発生年月 2010 年 7 月（大阪府、60 歳代・女性、死亡）

【事故の内容】

電動アシスト自転車で走行中、壁にぶつかったと思われる事故が発生し、1 名が死亡した。

【事故の原因】

使用者は、事故発生前から前後のブレーキの効きが悪いことを認識していた。後輪ブレーキが効かない状況下で、使用に伴って疲労していた前輪ブレーキワイヤーが切れたため、坂道上で止まることができず、壁に衝突したものと推定される。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

電動アシスト自転車 ブレーキ

■急発進して起こった事故

事故発生年月 2017 年 7 月（大阪府、80 歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

使用者が電動アシスト自転車で走行中、転倒し、左脚を負傷した。

【事故の原因】

詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかったが、電動アシスト自転車が急発進して使用者がバランスを崩し転倒した等の可能性が考えられる。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード】

電動アシスト自転車 急発進

電動アシスト自転車で気を付けるポイント

○初期点検は必ず受ける。乗車前に点検を行う。

自転車を購入してから 1 カ月ほど経過したら必ず初期点検を受けてください。自転車は新車で乗り始めてからしばらくするとブレーキワイヤーなどが伸びます。再度調整が必要になるので、必ず初期点検を受けてください。また、乗車前にも以下の点について点検を行いましょう。

- バッテリーが確実に取り付けられているか
- 車輪やハンドルまわり、ペダルにゆるみやがたつきがないか
- ブレーキの効き具合に問題はないか



車両協力: プリアストンサイクル株式会社

電動アシスト自転車の点検

○アシスト機能を過信しない。急発進や「けんけん乗り」を避ける。

ペダルを漕ぐ力が楽な電動アシスト自転車ですが、上り坂では平坦な道よりも大きな力が必要になります。平坦な道と同じ感覚でこぎ出すと、アシストが追いつかず、バランスを崩すおそれがあります。アシスト機能はあくまで補助であり、過信せず慎重な発進を心がけましょう。

また、平坦な道でペダルを強く踏み込みすぎると、急発進してしまい危険です。乗車時はサドルに座り、軽く踏み込むようにしましょう。さらに、片足で地面を蹴りながらもう片方の足をペダルに乗せて発進する「けんけん乗り」は絶対に避けましょう。電動アシスト自転車ではこの動作が不安定になりやすく、急な加速や転倒の原因になります。必ず両足をペダルに乗せ、サドルに座った状態で安全にこぎ出しましょう。



車両協力: プリアストンサイクル株式会社

電動アシスト自転車でペダルを強く踏み込んでしまう様子

事故事例・リコール情報を確認

○過去に発生した事故情報、リコール情報を確認する。

シルバーカー・歩行車、電動車いす及び電動アシスト自転車の事故の中には、リコールが開始された後に発生したものもあります。お持ちの製品がリコール対象になっていないか今一度ご確認ください。

もしリコールの対象となっている製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店や製造・輸入事業者を確認や相談をしてください。そのまま使い続けないようにしてください。

【NITE SAFE-Lite（ナイト セーフ・ライト）のご紹介】

NITE はホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「NITE SAFE-Lite（ナイト セーフ・ライト）」のサービスを行っています。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報やリコール情報を検索することができます。

また、事故事例の【SAFE-Lite 検索キーワード例】で例示されたキーワードで検索することで、類似した事故が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

※製品事故情報を収集し、公開して広く社会で共有して、事故原因の分析・評価や再発防止に活用していくことは重要です。そうした事故情報が活用されて、従来の基準が見直され、安全性の向上した新基準での製品が作られ、流通・販売されることで、関連事故の減少につながります。

もし製品事故に遭われた場合には、消費者の皆さんは購入先（販売事業者）やメーカー（海外製品であれば輸入事業者等）または消費者ホットライン「188」（最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口）に、また、流通・販売事業者におかれてはそうした製品事故情報を知った場合には当該製品のメーカー等に、それぞれ報告いただくようご協力をお願いします。

【消費者庁のリコール情報検索サイトのご紹介】

「消費者庁リコール情報サイト」では、消費者向け商品のリコール情報を掲載しており、キーワードによりリコール情報を検索することができます。さらに、「リコール情報メールサービス」に登録することで、新規のリコール情報等が提供されます。



<https://www.recall.caa.go.jp/>

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 川崎 裕之

担当者 製品安全広報課 宮川 七重、山崎 卓矢、丸田 萌

Mail : ps@nite.go.jp

Tel : 06-6612-2066

参考情報

NITE に通知された製品事故情報^{※2}において、電動アシスト自転車の事故は 2015 年度から 2024 年度の 10 年間に受け付けられた事故が合計 762 件（うち使用者の年齢が 65 歳以上：146 件）ありました。

全年代の事故及び 65 歳以上の事故について、被害状況別の事故発生件数を図 1 に示します。

電動アシスト自転車による事故では、全年代で 46%が重傷を負っているのに対し、65 歳以上ではその割合が 84%に達しています。加齢により骨がもろくなっていることに加え、事故が起こった際に反応速度やバランス感覚の低下により受け身が取れず、重傷につながりやすいことが考えられます。

高齢者のご家族、周囲の皆さんは特に、乗車時の安全確認や慎重な運転を心がけましょう。

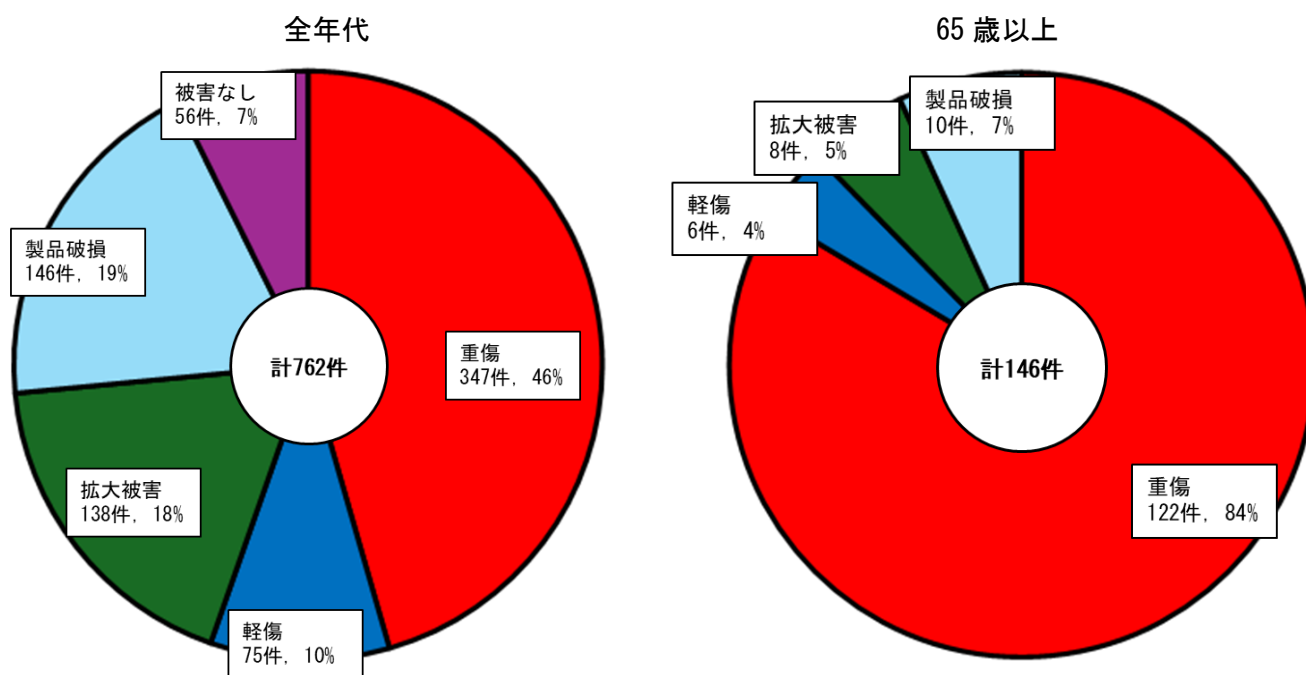


図 1 電動アシスト自転車の被害状況別の事故発生件数

(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。

参考情報

電動車いす等の業界団体から注意喚起がされるとともに、安全に使用するための手引きも作成されていますので是非ご確認ください。

○一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会：http://www.jaspa.gr.jp/?page_id=243

○電動車いす安全普及協会：<https://www.den-ankyo.org/guidance/safety.html#safetyList>

○公益財団法人テクノエイド協会：<https://www.techno-aids.or.jp/hiyari/jirei.html>



(画像出典：電動車いす安全普及協会「電動車いす安全利用の手引き」、公益財団法人テクノエイド協会「福祉用具ヒヤリハット事例集」)